

| 領域   | 科目名   | 単位 | 時間数 | 対象学年 | 開講時期 | 担当講師                    |
|--|---|----|-----|------|------|-------------------------|
| 専門分野Ⅱ  | 成人看護学援助論演習  | 1  | 30  | 2年次  | 9月   | 田中紀代美<br>石井美香子<br>橋口 清美 |
| <b>授業概要</b><br>成人期にある対象の健康障害を明確化するプロセスおよび看護を提供するために必要な看護技術について学ぶ。ここではいくつかの事例をとりあげて授業を展開する。<br>対象の健康障害を明確化するプロセスでは、観察したことや検査値などから収集した患者の徴候を理解できるようにする。そのうえで、生命の危機的状況にある人の生命を守るために看護師にどのような役割があるかを考える。 |   |    |     |      |      |                         |
| <b>到達目標</b><br>1. 急激な健康破たんをきたしている対象の系統的な観察を行い、必要な看護技術について習得できる。<br>2. 慢性的な経過をたどる健康障害を持つ患者の看護について理解できる。<br>3. 治癒困難な健康障害により終末期にある患者とその家族への看護について理解できる。   |   |    |     |      |      |                         |
| <b>使用教材</b><br>テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学8脳神経 医学書院<br>系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学5「消化器」医学書院<br>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学2呼吸器 医学書院<br>授業に必要と考えられるテキストなど<br><b>参考文献：</b>  |   |    |     |      |      |                         |
| <b>評価</b><br>レポート、出席状況、演習参加状況を総合して評価   |   |    |     |      |      |                         |
| <b>授業計画</b>  |   |    |     |      |      |                         |
| 時間・回数  | 授業内容  |    |     |      |      | 方法                      |
| 10時間・5回  | 1. 生命の危機的状況にある患者の看護<br><b>【事例】</b> 成人期（壮年期）、脳血管疾患、男性<br>1) 救急外来を訪れる患者・家族の特徴<br>2) 救急看護の特徴<br>(1) 症状アセスメントから予測的なモニタリング<br>(2) 患者・家族との関係形成<br>3) 危機的状況におけるチーム医療<br><b>【実技】</b><br>① フィジカルアセスメント      ②12誘導心電図 |    |     |      |      | 講義<br>演習<br>実技          |
| 8時間・4回   | 2. 慢性的な経過をたどる患者の看護<br><b>【事例】</b> 成人期（向老期）、潰瘍性大腸炎、女性<br>1) 慢性的な経過をたどる健康障害の特性<br>2) 主な看護援助      3) 患者指導  |    |     |      |      | 講義<br>演習                |
| 12時間・6回  | 3. 治癒困難な健康障害により終末期にある患者とその家族への看護<br><b>【事例】</b> 成人期、肺がん<br>1) 看護診断過程<br>2) 終末期にある患者および家族の特性<br>3) 看護の実際<br>(1) 症状マネジメントと日常生活援助      (2) エンゼルケア<br>(3) グリーフケア <b>【実技：エンゼルケア】</b>                             |    |     |      |      | 講義<br>演習<br>実技          |
| 備考   |   |    |     |      |      |                         |